



7月の園だより

令和7年7月1日
目黒区立中央町保育園園長

今年は梅雨入り後も真夏を思わせる暑い日が続いていますが、時折降る雨の恵みを受けた木々の緑は鮮やかに感じられます。雨天時でも子どもたちが体をたくさん動かして心も体も十分に発散できるよう、各クラスが工夫して活動を行っています。中央町保育園では今年度の職場研修として「じゃれつき遊び」を全職員で学んでいます。じゃれつき遊びはケガをしない体づくりと共に、子どもたちがわくわくハラハラドキドキする遊びを体験し脳の刺激が高まることで気持ちが落ち着き心の安定にも繋がるそうです。先日保育の様子を見に行くと、0歳児は大きな布の上に子どもが腹ばいになり、保育士が布をゆっくり引っ張ると子どももゆっくりと移動しています。キョトンとした表情をしながらも楽しいようで、布から降りてもまた布に近づいて催促していました。2歳児は敷き詰めたマットの上でお芋になったつもりでごろごろ転がり、その子どもたちを保育士がゴシゴシこすり洗いするようにくすぐると、子どもたちは声をあげて喜んでいました。保育士も一緒にじゃれつき遊びを楽しみながら、子どもたちが目を輝かせて楽しむ瞬間を大切に関わっていきたいと思います。

夏の暑さが年々厳しくなり、今年は昨年より10日ほど早くプール開きをしました。3、4、5歳児クラスがプールに入る時には水の精が登場し、安全に楽しくプール遊びができるよう魔法をかけてくれました。子どもたちが夏ならではの経験を通して様々な発見をしたり開放感や楽しさを存分に味わえたりできるよう、熱中症対策をしながら夏の遊びを進めていきたいと思います。

《7月の予定》

夏まつり

七夕

笹焼き

中旬頃 身体計測・避難訓練

夏野菜をおいしく食べよう

① 苦味を和らげる



切って水にさらしてから加熱する。

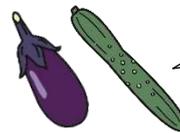


繊維に沿って縦に切る。



油で炒めたり揚げたりする。

② 噛みやすくする



ピーラーでしましまにむく。



皮を湯むきする。

だし汁やごまなどの食材と合わせて風味を良くする、食べる時に「キュッキュッって音がするね」と咀嚼する音を楽しむこともおいしく食べる工夫のひとつです。大人がおいしく食べる姿を見せながら、子どもが楽しく食べる経験を重ねられると良いですね。

感触遊びの様子 をお伝えします

1歳クラス



小麦粉に水を入れて混ぜて見せると、すぐにそばに来て手を伸ばす子や後ずさりをして離れた所で様子を見よう子と反応はそれぞれです。保育士の手にべたべた張り付いていたものが、段々と丸く柔らかな塊になっていくと「なに」と触り始めました。様子を見ていた子も「ちょうだい」と手を出したので、手のひらに乗せてみました。ぎゅっと握って広げると小麦粉粘土に指の跡がつき「なんだ」と驚いたように言いながら興味津々に見つめています。保育士が小麦粉粘土を細長く伸ばすと、子どもがそれを手で持ち上げ「へび」と体を揺らしています。保育士も細長くした小麦粉粘土をゆらゆら揺らして見せると、まわりの子どもたちも「によろによろ」と言い欲しい事を伝えてきたので、一緒に沢山作って遊びました。叩くようにつぶしたり、つまんでちぎったりそれぞれが自分なりに試しながら形の変化を楽しんでいました。粘土、砂、水などこれからもいろいろな感触に触れる遊びを通して、一人ひとりの楽しむ気持ちに共感をしていきたいと思います。

3歳クラス



保育士がシャワーホースから水を撒いているうちに地面が泥になったことをきっかけに泥んこ遊びが始まりました。裸足になり、泥の中に足を入れると「気持ちいい」と足を地面にこすりつけています。遊んでいるうちに冷たかった泥水が温かくなり「なんでかな」と不思議がっています。「お風呂みたい」とイメージする子もいて、足湯を楽しんでいました。砂場では作った砂山にホースを入れ、「3・2・1」の合図で噴水のように水が出てくると声をあげています。噴き出た水が周りに落ち、新たに川や池ができる掘り出して…と次々に遊びが展開していきました。初めは躊躇していた子も友達が楽しく遊ぶ様子を見ていつの間にか参加していて、部屋に戻る頃には手足が泥まみれになるほどでした。今の時期ならではのダイナミックな泥んこ遊びを楽しんでいきたいです。

絵本の貸し出し図書コーナーがあります

場 所：事務所横廊下の棚に絵本が入っています。

約束事：絵本貸し出しノートにクラス名など記入してください。

1人1冊1週間までです。

1冊借りたら返却後に又借りてください。

お子さんと一緒に絵本を選ぶ時間も楽しんでみてはいかがでしょうか